

安楽だより



志布志市立安楽小学校

第336号

発行責任者：校長 小峯 三朗

発行年月日：令和6年7月19日

体験活動は、子どもも大人も元気にする ～夏休みに、真夏の大冒険を～

校長 小峯 三朗

6月19日(火)20日(水)の2日間、5年生が鹿屋の国立大隅青少年自然の家で、集団宿泊学習に参加しました。集団宿泊学習では、子どもたちが協力しないと解決できない活動を体験させ、感動体験を共有させることで、子ども同士の人間関係・コミュニケーション力を高めることができます。更に、集団宿泊学習は、学級への所属感や連帯感が深まり、今後の人格形成や学級経営をよりよくするために寄与する意義深い体験活動と言えます。

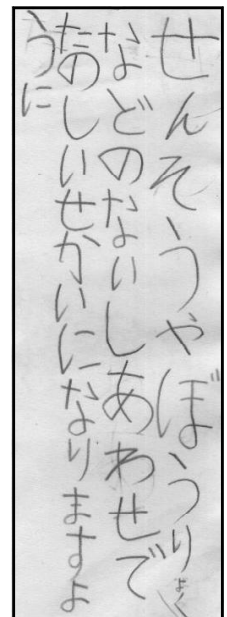


5年生のどの子ども、自己肯定感に満ちた顔(ドヤ顔)で、生き生きと活動している姿は、まさに、体験活動から学んでいる成果の現れであると感じました。

この夏休みにぜひ、様々な自然体験や生活体験を多くさせ、自己肯定感を味わわせる機会を増やしてほしいと思います。

【真剣な子どもの眼差し】

自然体験【例】	生活体験【例】
<input type="checkbox"/> 海や川で泳ぐこと	<input type="checkbox"/> ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったりすること
<input type="checkbox"/> チョウやトンボ、バッタなどの昆虫を捕まえること	<input type="checkbox"/> 小さい子供を背負ったり、遊ぶこと
<input type="checkbox"/> 海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりすること	<input type="checkbox"/> 道路や公園などに捨てられているゴミを拾うこと
<input type="checkbox"/> キャンプをすること	<input type="checkbox"/> タオルやぞうきを絞ること
<input type="checkbox"/> 大きな木に登ること	
<input type="checkbox"/> 高い山に登ること	



子どもの作品から感じる学びの跡 パート2

右の作品は、七夕の笹飾りの短冊に書かれていた願い事です。一字一文字丁寧に書かれていて、その内容も今の社会を子どもの目から見た素直な願い事だと感じました。何年生が書いた短冊だと思いますか。これは1年1組の吉本創一郎(よしもとそういちろう)さんが書いた短冊です。これを見て、自分の身近なところ(学級の先生や友だち、周りの友だち、おうちの方々など)においては、温かい人間関係が構築され、創一郎さんの心の安心を感じることができました。2学期も入学式で述べた「安心・安全でみんなが楽しい安楽小学校」になれるよう、更にみんなで取り組んで参ります。

【七夕の願い事】

学校閉庁日の設定について

志布志市では、全小・中学校において、夏季休業中に「学校閉庁日」を設定しています。学校職員の健康を保持・増進し、心身のリフレッシュ等を目的とします。また、対外業務がほとんどないお盆の時期に学校職員が一斉に休暇等を取り、業務を休止する日となります。8月11日(月)～16日(金)の6日間を設定します。皆様には、御不便をおかけしますが、何卒、御理解と御協力をお願い申し上げます。

※ 学校閉庁日の緊急連絡先(志布志市教育委員会 学校教育課 099-472-1111)

